

厚生労働科学研究委託費（難治性疾患等実用化研究事業）
委託業務成果報告（業務項目）

短腸症候群の腸管不全に関する研究

田口 智章 九州大学 小児外科 教授
林田 真 九州大学 小児外科 助教
松浦 俊治 九州大学 小児外科 助教

研究要旨

腸管不全は短腸症と小腸運動機能障害に大別され、重症例に対して小腸移植が治療法として存在する。小腸移植の適応疾患である腸管不全登録症例から、短腸症を抽出し、その現状、合併症、予後等を解析した。2年間的前方視的観察研究に34施設より何らかの消化器疾患により6ヶ月以上静脈栄養を要する症例を登録対象とした。今回の追跡期間中の死亡症例、移植症例はなく小腸移植の成績と比較するとまだ良好な成績である。今後、詳細な予後因子を検討していく必要がある。

A . 研究目的

腸管不全は短腸症と小腸運動機能障害に大別される。重症例は高カロリー輸液などの管理が行われる。重症例に対して小腸移植が治療法として存在するが、現時点で小腸移植適応患者の総数は明らかでない。本研究の目的として、小腸移植の適応疾患である腸管不全登録症例から、短腸症を抽出し、その現状、合併症、予後等を解析する

B . 研究方法

2年間の前方視的観察研究 2013年4月30日より2014年3月31日までに34施設より何らかの消化器疾患により6ヶ月以上静脈栄養を要する症例を登録対象とした。107例の腸管不全症例が本研究事業に登録され、2014年12月31日まで275～609日間のフォローアップが継続されている。

(倫理面への配慮)

データの匿名化、対象、研究体制、研究対象者のプライバシー保護などの詳細は主研究に準じる。

C . 研究結果

2013年4月30日から2014年3月31日まで腸管不全症例107例が登録。男/女 = 55/52、年齢は11ヶ月～73歳(平均15.6歳)小児症例78例。短腸症(n=45)で原疾患は中腸軸捻転が最多(n=20)で先天性腸閉鎖(n=3)、Crohn病(n=7)、壊死性腸炎(n=1)、腹壁破裂(n=1)、腸間膜動脈血栓(n=1)であった。その他の短腸症は12例であり、小腸捻転(n=7)、小腸壊死(n=3)、腹壁破裂+多発小腸閉鎖(n=1)、ペーチェット病(n=1)、放射性腸炎(n=1)であった。(図1)

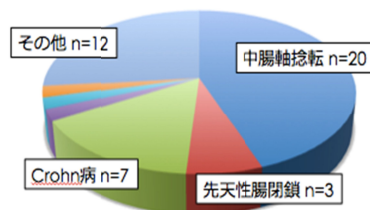


図1：短腸症の原疾患

短腸症の平均年齢は22.3歳(11ヶ月～73歳)、男/女 = 55/52、残存小腸は49.96cm(0～285cm)、回盲弁がある症例は15例(35.7%)であった。合併症は過去1年間の敗血症21(50%)、肝障害を認めるものが3例(7.1%)であったが、脾腫・門脈圧亢進症・肝性脳症を認める症例はなかった。腎障害は5例(11.9%)に認め、1例は透析導入されている。

転帰は1年後で死亡0例、移植0例、追跡不能1例であった。追跡2年後では死亡0例、移植0例であった。

D . 考察

後方視的観察研究では63施設354症例が登録され、小腸移植の適応から推計すると、68例が小腸移植の適応と考えられる。短腸症に限ってみると、前研究における登録症例の生存率は88.2%であり、最重症の症例には小腸移植が必要であり、前研究の死亡例も小腸移植実施により救命できた可能性も否定できない。前向き調査においても、追跡期間中の死亡症例はなく小腸移植の成績と比較するとまだ良好な成績である。

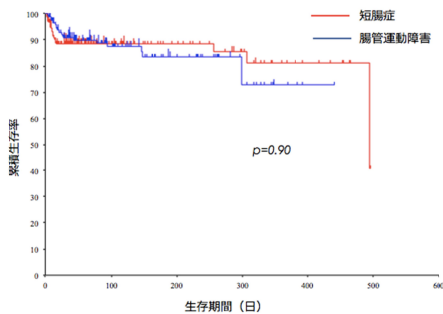


図2：腸管不全の生存率

E . 結論

今回の追跡期間中の死亡症例、移植症例はなく小腸移植の成績と比較するとまだ良好な成績である。今後、詳細な予後因子を検討していく必要がある。

G . 研究発表

1. 論文発表

1) 林田真、江角元史郎、柳佑典、吉丸耕一郎、田口智章 脳死小腸移植後の急性拒絶反応 小児外科 45(7) 738-740, 2013

2. 学会発表

1) 林田真、江角元史郎、柳佑典、吉丸耕一郎、田口智章. 第51回日本小児外科学会 2014. 4.11-13 大阪

2) 林田真、江角元史郎、吉丸耕一郎、柳佑典、賀来典之、李守永、平田悠一郎、前原喜彦、原寿郎、田口智章. 第28回日本小児救急医学会2014. 6.6-7 横浜市

3) Makoto Hayashida, Toshiharu Matsuura, Genshiro Esumi, Koichiro Yoshimaru, Yusuke Yanagi and Tomoaki Taguchi EUPSA 2014 18th-21st, June. Dublin

4) 林田真、松浦俊治、吉丸耕一郎、柳佑典、江角元史郎、池上徹、吉住朋晴、調憲、前原喜彦、田口智章. 第50回日本移植学会 2014. 9. 10-12 東京

H . 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし